

所在地：目黒区青葉台 3 - 3 - 26 東急田園都市線 池尻大橋駅 徒歩 10 分

学校名： 菅刈小学校		作成年月日：H.12.10.10	調査日：H.16.07/13.7/23
施設タイプ		地上シート型	
環境概況	植 物	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒルムシロ及びヒメガマが水面の 9 割ほどを覆うように繁茂している。水中のコカナダモが多くなっている。 ・水際に植え付けたイグサ、セリ、セキチョウは、順調に生育しているが、生育範囲はあまり広がっていない。 	
	動 物	<ul style="list-style-type: none"> ・メダカの稚魚多数、ヤゴの抜け殻や羽化直後のギンヤンマを確認した。 ・シオカラトンボ、アジアイトトンボ、キアゲハが飛来していた。 ・昨年確認したキンギョは確認できなかった。 	
	水 質	<ul style="list-style-type: none"> ・透明度は高く、良好な水質を保っている。 ・給水は、主事の方が行っている場合が多い。 	
	周辺環境	<ul style="list-style-type: none"> ・池周りは草本が増加しているが、周辺部は草刈りが行われ、草地環境は形成されていない。 ・周囲の樹木が成長し、日陰になりやすくなっており、適切な剪定が必要になっている。 	
	土 壤	<ul style="list-style-type: none"> ・池周りはシートが一部露出しているが、草が生育できない状態ではなく、草本環境の創出が期待される。 ・水深はある程度確保されており、40cm 程度はある。 	
活動状況	管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から飼育栽培委員会により常時観察が行われ、管理作業も検討されている。 	
	管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・主事による給水、草取り作業は行われているが、児童による水草の抑制作業などはまだ行われておらず、夏には除去作業を行う必要がある。 	
	利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・飼育栽培委員会による定期的な観察を行い、全校に対する観察記録の掲示や発表をしている。 	
今後の予定・計画		<ul style="list-style-type: none"> ・希望者による月 1 回程度の観察会を開催するとともに、各学年の授業における活用を行っていく。高学年による水草の抑制作業を行う。 ・教職員の意識を高めるため、講習会を行う予定である。 	

作成後の主な活動経過

年月日	活動内容	参加形態
H. 12.10.10	池の作成	全学年
13.	水草取り	校長、主事
14.	水草取り、草刈り	教師、有志、主事
15.04 ~ 月 1 回	観察活動 ヒルムシロの除去、周辺の草刈り	5 . 6 年生 主事
16.04 ~ 月 1 回	飼育栽培委員会による観察 池や池周辺の整備（ヒルムシロの除去など）	5 . 6 年生 主事

調査時（平成15年6月）



校舎内には、飼育栽培委員会によるビオトープの観察記録が写真とともに掲示されている。



水際の草本の生育は良いが、池周囲の草が刈り取られ、連促成が形成されていない。



調査時（平成16年7月）



水面は、ヒルムシロ、コガマによってほぼ全面が覆われている。



水辺には、セリ、イグサ、セキショウなどの植物が増えている。



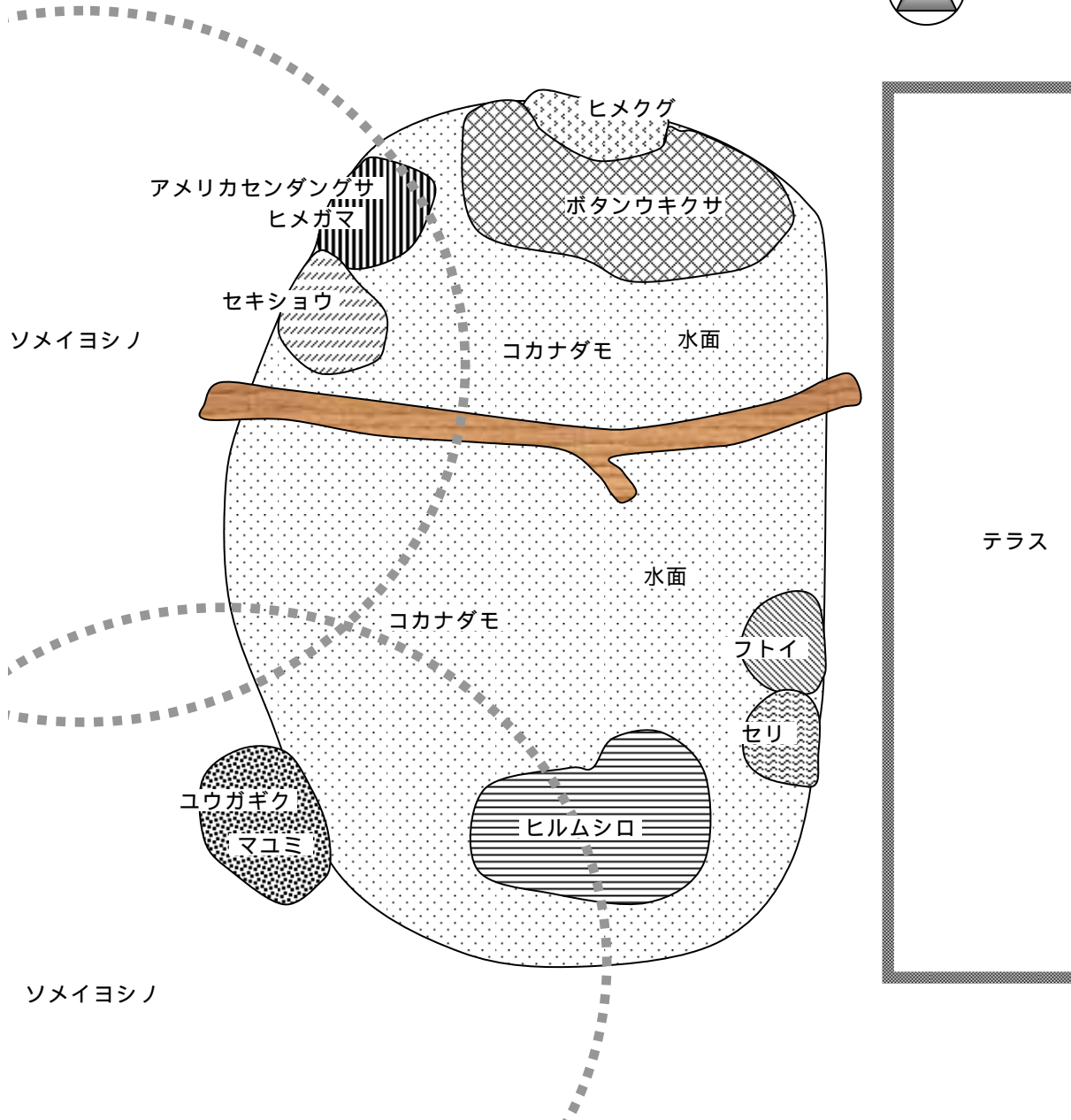
ガマなどの茎には、羽化したギンヤンマのヤゴの抜け殻が確認できた。



水中には多くのメダカが確認でき、水面にはオオシオカラトンボなどが飛来した。

菅刈小学校

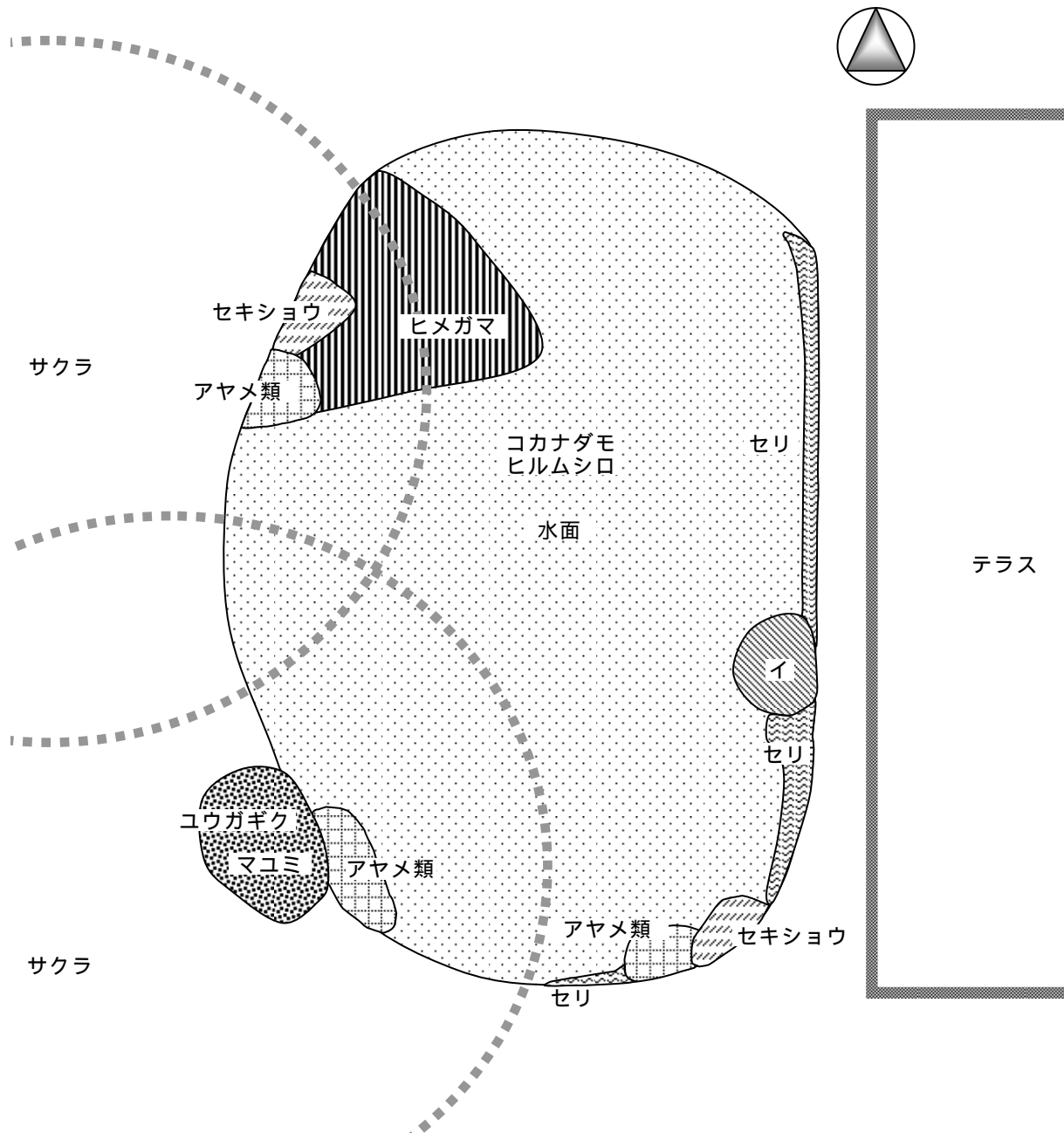
<平成13年度>



南側に高木があるため日当たりが良くないが、セリやセキショウの生育も良く、順調に環境がつくられている。ただし、ボタンウキクサは外来種で水面を覆ってしまうため、全て除去する必要がある。水中のコカナダモは、2割ほど残し除去する対象である。

水際には、土が露出している部分が多く、草本を生育させる部分を設け周辺の草地との連続性を確保することが必要である。

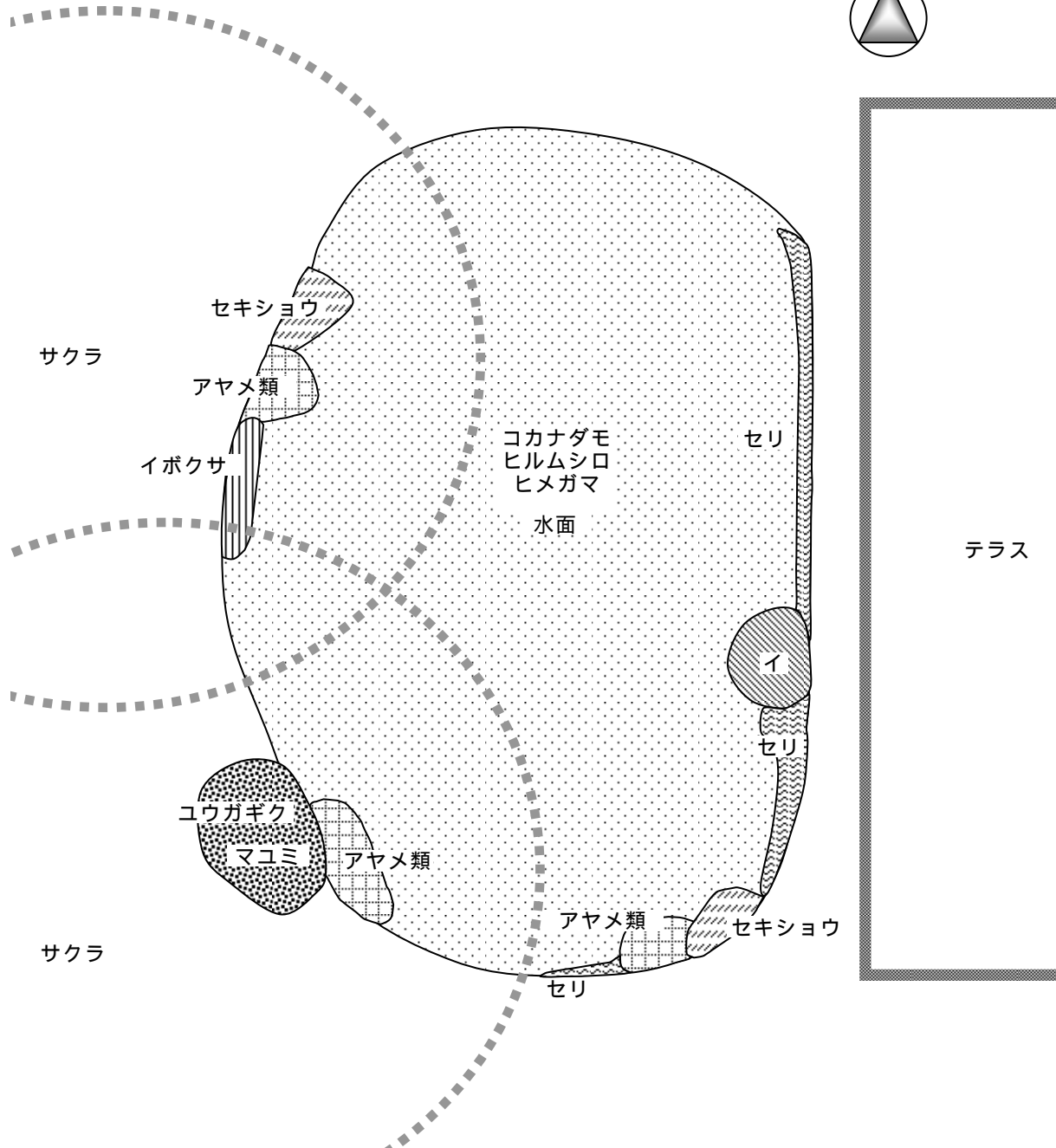
<平成14年度>



南側の剪定した高木（サクラ）が繁茂したため、日当たりが悪くなってきた。ヒメガマなどの生育は良く生育範囲を広げている。ヒルムシロも生育範囲を広げほぼ池全体に広がっている。水中のコカナダモは繁茂が著しく、今年も8割ほどの除去作業をする必要がある。

水際には、土の露出している部分が多く、草本を生育させる部分を設け周辺との連続性を確保することが必要であるが、土手部分が一部崩壊し、湿地状の草地を形成している部分もある。

<平成15年度>

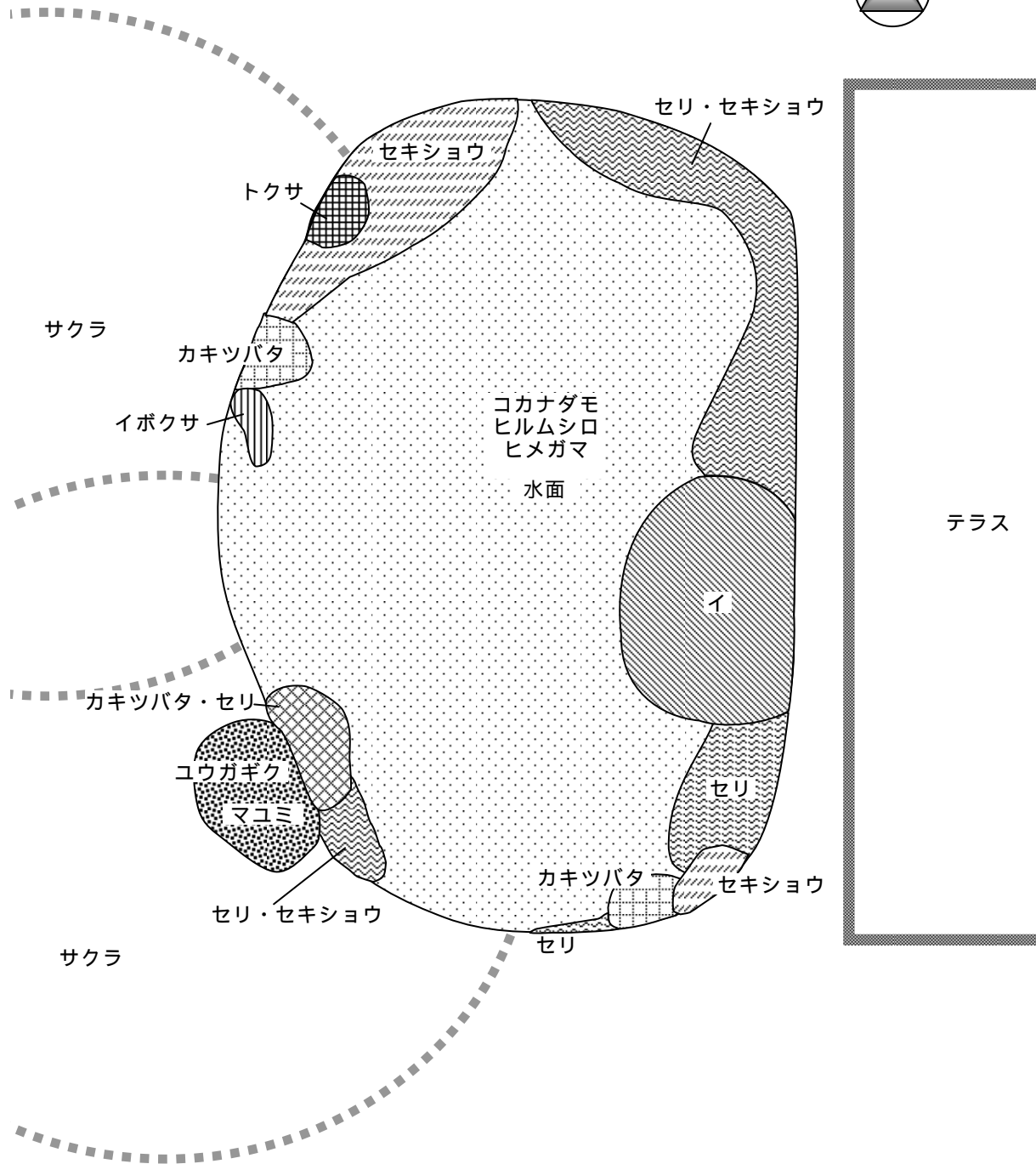


南側の高木（サクラ）が伸長したため、日当たりが悪くなってきており、数年後までを見据えた適切な剪定が必要である。

ヒメガマ、セリ、イグサなどの生育は良好であるが生育範囲は少し広がっている程度である。一方、ヒルムシロが水面全体に生育範囲を広げ、水面が見えなくなっている状態であるため整理（半分程度に除去）が必要である。また、水中のコカナダモも繁茂が著しく、今年も8割ほどの除去作業をする必要がある。

周辺環境では、昨年同様に草本を生育させる部分を設けて、周辺の環境との連続性を確保することが必要である。今年度からは飼育委員会による管理が可能であるため、観察エリアの部分の除草は児童がこまめに実施することが可能である。

<平成16年度>



ヒメガマ、セリ、イグサなどの生育は良好であるが生育範囲は少し広がっている程度である。一方、ヒルムシロが水面全体に生育範囲を広げ、水面が見えなくなっている状態であるため半分程度まで除去する必要がある。

周辺環境では、昨年同様に草本を生育させる部分と観察空間として除草する部分を設けて、周辺の環境との連続性を確保することが必要である。